

<b>不審者対応訓練</b> ～防犯教育・警察署との連携～
----------------------------------

◇講師：大月警察署 生活安全課 渡辺 俊 さん 道志村駐在所 深澤 建己 さん スクールサポーター 萩原 興治 さん
---

### 1. 目的と経緯

近年、不審者が校内入り込む、登下校において不審者に付きまとわれる。という事案は後をたたない。このような状況の中、学校内、学校外を問わず、万が一不審者に出くわした時、どのように逃げるか、避難するか？等、大月警察署生活安全課・地域の駐在署員・スクールサポーターを招いて全校児童への指導を行った。昨年度は児童を守るための教職員を対象とした、不審者対応訓練を実施した。

### 2. 内容

#### ①不審者対応訓練

< 想定～不審者の侵入～ >

小学校玄関から、不審者が侵入。玄関ホール内で、職員が発見。不審者はC階段から3年生教室へ向かう。放送の指示で、全学級、教室に待機。不審者が3年生教室前辺りにいることを確認して、1・2年生は、C階段から、5・6年生は、D階段から体育館へ避難。その後、不審者は、1・2年生教室方面へ向かう。3・4年生は、中学校側から体育館へ避難。

#### ②講演：大月署員・スクールサポーター・駐在所員

- ・避難訓練のフィードバック：児童が避難の基本的要素「お・は・し・も」を守って避難できたかについての評価。
- ・登下校時や遊んでいるとき、街で不審者に遭遇した時、どのように逃げるかロールプレイ形式での逃げ方や不審者対応。

### 3. 成果と課題（○成果 △課題）

～教職員の成果と課題 抜粋～

- 教師が誘導する形であり、避難の動きそのものは良かったと思う。
- 3・4年生は、遅れての避難だったが、不審者の様子を見ながら落ち着いて対応することができた。
- 不審者への恐怖感が強く、〇〇の場合はどうしたらよいのかなど、質問が多く出た。また、自分事として捉えていた。
- 講演の中で模擬訓練をさせてもらえて良かった。
- 子ども達もよく知っている「いかのおすし」を丁寧に確認ができて良かった。
- △その場でも構わないので参加児童全員に「助けて」等の言葉を実際に声に出す機会を設定しても良かった。
- △事前指導後も一日怖がっている様子がある児童がいた。今後、恐怖感を持たないように丁寧に指導する必要がある。
- △避難する際に少し声が聞こえてきたので、静かに移動する理由を確認した上で、より意識できるようにしていく。



